



一本道

山田小学校通信No.11

令和8年7月10日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を ～1日1ミリ～」

1 授業紹介② 5年図工、ダンボールは物をつくる材料になる？

7月7日、図工専科の井上先生が、5年生で「ダンボール試して作って」の研究授業を行いました。先生が様々なダンボール作品を紹介すると、「こんなものが作れるの？」「すごい！」という子供たちの声が聞こえてきました。子供たちは「自分も作ってみたい」と一気に創作意欲がわいたようでした。作品を作るために「曲げる」「穴をあけて通す」「水につけてやわらかくする」などの様々な技を学び、試しました。黙々と取り組む子、教え合いをする子、先生に尋ねる子等、それぞれで課題に向かって自己選択・自己決定しながら学習を進めていて、創作の喜びをたくさん味わっていた子供たちでした。



2 授業紹介③ 杉の子学級算数、自分で学習を進める力

7月8日、沢田先生が、杉の子学級にて算数の研究授業を行いました。今回は、1年生、3年生、4年生が同じ教室で学習を進める「複式授業」です。学年が異なる子供たちが同時に学ぶ教室では、先生が別の学年の指導をしている間、子供たち自身が「自分で学習を進める力」を発揮することがとても大切になります。3人の子供たちは、デジタル教科書やタブレットの

動画を自分たちで操作してヒントを探したり、問題集やノートにじっくり向き合ったりと、その場面にあったやり方を駆使して、学習を進めていました。自分から進んで学び、「分かった！」という瞬間をたくさん味わっていました。



3 授業紹介④ 6年社会、「学びの自走」で成長を！

7月8日、吉海先生が、6年生で社会科「貴族が生み出した新しい文化」の研究授業を行いました。子どもたちは、「誰と勉強するか」「何を使って調べるか」を自分で決めて、主体的に学習を進めました。これからの長い人生において、とても大切になる「学びの自走」がしっかりと育まれていました。授業ではタブレットも大活躍でした。デジタル教科書を活用したり、「考えの共有」を行ったり、付箋機能を使って学習問題を作ったりと、終始生き生きと取り組んでいました。自分で決めて、仲間と高め合う6年生の姿は本当に頼もしく、立派でした。

